

池田市行財政改革推進プランⅡの計画期間を通じた取組に関する意見  
(第一回行財政改革推進委員会終了時)

(1)改革の目標の達成状況について

プランⅡの計画期間における改革の目標及び令和4年度までの中期目標については、単年度について見れば、途中、人件費の増加に伴い達成に至らなかった年度もあったものの、4年間の計画期間を通じては概ね達成しており、着実に行財政改革を推進したことは評価できる。

また、プランⅡの目標に向けてめざすべき姿として掲げた、経費や職員数の削減などを中心とした取組によって効果額を追求する「量の行財政改革」に加え、事業の実施にあたっては常に問題点の把握と改善に努め見直しを進めることで市政運営の質を高める「質の行財政改革」に重点的に取り組んでいることも評価でき、次期計画である池田市行財政改革推進プランⅢに基づき取り組むに当たっても、引き続き不断の行財政改革に努められたい。

(2)資料の作成について

プランⅡ期間中の取組状況については、年度別の取組が記載されており視覚的に理解しやすいものとされている。4年間の振り返りに関しては、当初設定した目標を達成したものについても、残された課題や今後の展望を記載することで内容の充実を図ることが望ましい。

(3)今後の行財政改革について

財政調整基金残高については目標を大きく上回っている状況にあるものの、プランⅢの改革期間においては、公共施設等総合管理計画や個別施設計画に基づく公共施設の保全・更新など大型の投資的事業が実施される予定であり、財政的に予断の許されない状況にある。安定的かつ持続可能な行政運営体制の構築のため、プランⅢの実施に当たってはより徹底した進行管理を行う必要がある。